

コンピュータ高度利用技術(第2報)

ーパソコンによる販売管理ー

井坂 昭雄

*

1. 緒 言

近年は、色々な分野でコンピュータを導入し省力化、省人化を図る傾向がますます強くなってきている。また、生産形態は、多品種少量生産時代を迎えた為に生産管理業務における事務的仕事量が増えている。

そこで、昨年度に引き続き今年度は、RDBMS(リレーショナル・データベース・マネージメント・システム)を利用して販売管理ソフトを作成したので報告する。

2. プログラム開発のシステム構成

パソコン	PC-9801VM
プリンタ	NM9900
言語	dBASEm PLUS

3. 作成プログラムの内容

3.1 入力フォーマットの作成

データ入力形式は、データの入力ミスを避けるために専用のデータ入力用画面を作成した。作成例を図1に示す。これは納入製品データ入力用である。

3.2 販売管理

販売管理は、図2に示すようなプログラム構成にした。以下にその内容を延べる。

(1) 伝票作成

伝票作成プログラムは、指定期間内の受注製品を製品別に受注数量を算出する。指定期間内の受注製品数を受注先別に受注製品と数量の伝票を作成する。指定した期間内の売上数量と金額を製品毎に算出する。指定した期間内の総売上金額と製品数量の伝票を作成する。指定した期間内に納入した製品の請求書を納入先毎に作成する。指定した期間内に入金した金額を算出し伝票を作成する。

(2) 入金入力

入金された金額の入力を行う。

(3) 製品入力

受注製品データ入力と納入製品データの入力を行う。

```

### 納入製品に関するデータ入力 ###      ### 客先名簿の番号 ###
### 作業終了は製品番号に0を入力する ###  ### 製造所 ###
### 年月日の入力法は月/日/年 ###          ### 製造所 ###
受注した製品番号の入力      :      ****
受注した年月日の入力        :      / /
納入した年月日の入力        :      / /
納入先番号(客番号)の入力   :      ****
納入した製品数量の入力      :      0
    
```

*新技術応用部

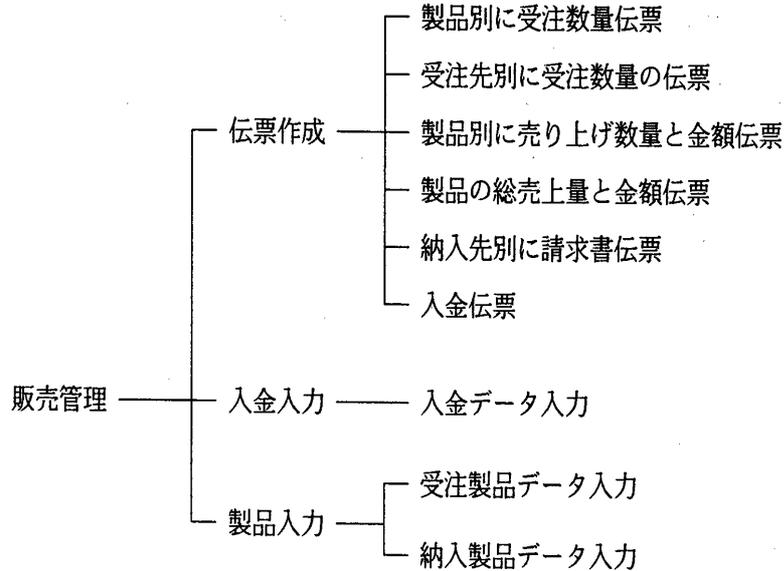


図1 データ入力用フォーマット例

図2 販売管理の構成

3.3 結果の一例

納入データファイル(図3)から3月分の
納入実績と納入先別に請求書を作成した
結果をそれぞれ図4, 図5に示す。

製品番号	納入年月日	納入量	納入先
1002	03/10/91	12	2
1001	03/15/91	15	1
1003	03/20/91	25	2
1002	03/15/91	12	2
1005	03/30/91	15	1
1003	03/30/91	5	1
1003	03/12/91	5	1
1003	03/15/91	10	2
1001	03/26/91	5	2
1003	03/25/91	5	3
1003	04/01/91	5	1
1002	04/02/91	10	1

図3 納入データ

3 月分全製造製品納入実績と金額

製品番号	納入年月日	納入量	納入先
1001	03/15/91	15	1
1001	03/26/91	5	2
1002	03/10/91	12	2
1002	03/15/91	12	2
1003	03/12/91	5	1
1003	03/15/91	10	2
1003	03/20/91	25	2
1003	03/25/91	5	3
1003	03/30/91	5	1
1005	03/30/91	15	1
全売上総数	109	個	
金額合計	1230	円	

図4 納入実績算出結果

(株)イタコ (株)自社名 3月分請求書 07/22/91

製品番号	数量	納入日	単価	金額
1003	5	03/12/91	5	25
1001	15	03/15/91	10	150
1003	5	03/30/91	5	25
1005	15	03/30/91	20	300
合計				500 円

図5 納入先別に請求書作成結果

4. 結果

- (1) 生産管理業務に置ける事務量の軽減が図れる。
- (2) データ処理方法対話型に作成することにより誰でも操作できるため専従員が必要なくなる。
- (3) 自社でシステムを構築すれば使い勝手のよい自社専用のシステムを構築することができる。また、手直しも自由に出来る。
- (4) データ処理時間の短縮が図れる。
- (5) 計算ミスが避けられる。